

藩札発行とその目的【要旨】

藩札は江戸時代から明治時代の初期にかけて日本の幣制の一翼を担った。流通形態はさまざまで、藩による政府紙幣の性格も有するが、その兌換性を考えると、世界最初の信用貨幣のひとつだといえる。

貨幣は機能を考察するよりも目的および役割を検討することが重要である。藩札は社会的な要請にともなって地域通貨としての役割が付与された。藩札は内部貨幣として発生し、正貨（幕府貨）を補完し、貨幣経済化を進めて経済成長に寄与した。幣制の混乱に際しては正貨と並行して流通することから、正貨の代替となることが期待された。藩札発行の目的を検討することで、藩札の役割、貨幣における位置づけをとらえなおすことができる。